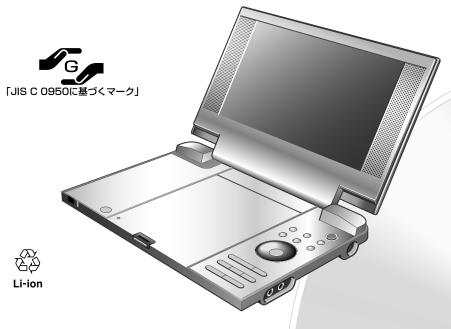
TOSHIBA

東芝ポータブルDVDプレーヤー取扱説明書

形名 **SD-P90DT**

「JIS C 0950に基づくマーク」

Li-ion

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行なうため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属している説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

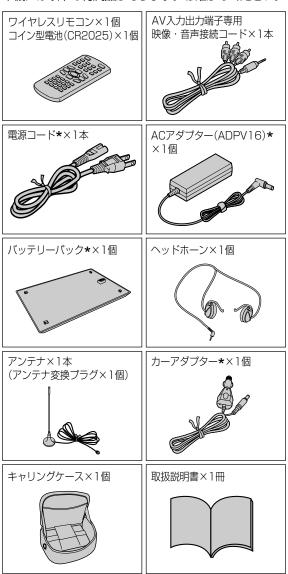
リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。（リージョン番号が不適応の場合には画面に表示が出ます。）

本機のおもな機能について

● DVDビデオディスク、DVDオーディオディスク、ビデオCD、音楽CDを再生することができます。
● CD-RやCD-RWなどのディスクに記録したMP3/WMAオーディオファイルやDivX®ビデオファイル、JPEGファイルの再生をすることができます。
● 本機に内蔵されたテレビチューナーで、日本国内の地上アナログ放送、ワンセグ放送の視聴や、FMラジオ放送を聞くことができます。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

*これらの付属品を、本機以外に使用しないでください。また、これらの付属以外のものを本機に使用しないでください。

もくじ

はじめに ●お使いになる前に必ずお読みください。

再生（基本編） ●画像を映してみましょう。

再生（応用編） ●こんな使いかたもできます。

テレビを見る ●本機でテレビ放送の視聴ができます。

機能設定 ●お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

接続 ●テレビやオーディオシステムに接続できます。また、バッテリーパックを接続して使うこともできます。

その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ **表示の説明**

表示	表示の意味
⚠ 危険	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものををさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ **図記号の例**

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	"⃠"は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	"●"は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	"△"は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠ 警告

■ **煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと**
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

プラグを抜け

■電源コードが傷んだり、プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜け

ご使用になるとき

⚠警告

■修理・改造・分解はしないこと

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■内部に異物を入れないこと

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異物挿入禁止

■雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

■水にぬらしたりしないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

■航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従うこと

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

指　示

■ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないこと

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

禁　止

■歩行中や、乗り物を運転しながら使用しないこと

交通事故の原因となります。

禁　止

■車の中などで使用するとき、窓から付属のアンテナを出さないこと

他の人にけがを負わせる原因となります。

禁　止

ご使用になるとき

⚠注意

■**ふたを閉めるとき、手を入れないこと**
手をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁　止

■**ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁　止

■**ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと**
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁　止

■**回転中のディスクには触れないこと**
ふたを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

禁　止

■**電源を入れる前には音量を最小にすること**
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

指　示

■**画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしないこと**
中毒を起こすおそれがあります。
万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

禁　止

設置されるとき

⚠ 警告

■屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと

火災・感電の原因となります。

■上にものを置かないこと

● 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
● 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと

本機が落ちて、けがの原因となります。

禁　止

■ひざの上などで使用しないこと

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。
低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

禁　止

⚠ 注意

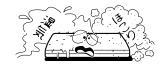
■温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁　止

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

■風通しの悪い場所に置かないこと

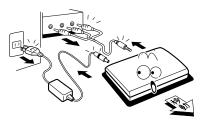
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

● じゅうたんや布団の上に置かないでください。
● テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
● あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
● 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
● 壁に押しつけないでください。

禁　止

■移動させる場合は、ACアダプター・カーアダプター・外部との接続コードをはずすこと

ACアダプターやカーアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

指　示

ACアダプターと電源コードについて

⚠警告

■電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指　示

■ACアダプターを分解・改造・修理しないこと

火災・感電の原因となります。

分解禁止

■電源コードは

●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと

●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと

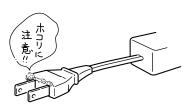
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。

禁　止

■時々電源プラグを抜き、刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指　示

■通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

火災、故障の原因となることがあります。

禁　止

⚠注意

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

■電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止

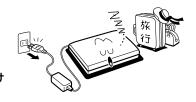
■ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用すること

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属の電源コードは国内向けです。海外で使用する場合は、使用する地域の規格に適合した電源コードをご使用ください。

指　示

■旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け

■付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

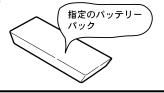
■電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■指定されたバッテリーパックを使用すること

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしないこと

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしないこと

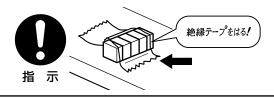
破裂・火災の原因となります。

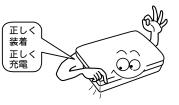
■バッテリーパックの電極(＋端子と－端子)を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しないこと

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。

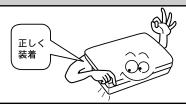
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼ること

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しないこと

破裂、発火の原因となります。

⚠注意

■バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

コイン型電池について

⚠警告

■コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かないこと

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

禁　止

⚠注意

■リモコンに使用しているコイン型電池は

●指定以外の電池は使用しないこと

●極性表示[(+)と(−)]を間違えて挿入しないこと

●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れないこと

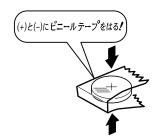
●表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁　止

■コイン型電池を破棄する場合は、(+)と(−)にそれぞれビニールテープなどをはること

そのまま破棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。
廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

指　示

■開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れること

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

指　示

カーアダプターについて

⚠危険

■走行中は、使用しないこと
交通事故の原因となります。

■エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと
エアバッグシステムが正常に動作せず、事故の原因となります。

■運転者の視界を妨げる場所に置かないこと
交通事故、けがの原因となります。

■運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと
交通事故の原因となります。

⚠警告

■コード類がシートのレールやドア、窓などの可動部分にはさまれないようにすること
コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。

■分解・改造はしないこと
火災、感電の原因となります。
シガーライターソケットやその周辺も改造して使用しないでください。

⚠注意

■カーアダプターは指定のポータブルDVDプレーヤー以外に使用しないこと
発煙、火災、感電の原因となります。

■ポータブルDVDプレーヤー本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターで充電しないこと
発煙、火災、感電の原因となります。
また、車のバッテリー等への影響が発生します。

■24V車で使用しないこと
カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。

**■ぬれた手でカーアダプターをシガーライターソケットに抜き差ししないこと
また、液体をこぼしたりしないこと**
感電の原因となります。

■通電中のカーアダプターに長時間触れないこと
カーアダプターの温度が上がるため、長時間皮膚に触れていると、低温やけどなどの原因となります。使用後のシガーライターソケットは熱くなっていますので、注意してください。

■カーアダプターを使用するときは、カーアダプターのプラグはシガーライターソケットに、カーアダプターのプラグはポータブルDVDプレーヤー本体の電源入力端子にしっかりと差し込むこと
これを守らないと発煙、火災の原因となります。

キャリングケースについて

⚠危険

■走行中は、取りはずすこと
急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。

■エアバッグの動作を妨げる場所に置かないこと
エアバッグシステムが正常に動作せず、事故の原因となります。

■運転者の視界を妨げる場所に置かないこと
交通事故、けがの原因となります。

■運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かないこと
交通事故の原因となります。

⚠警告

■キャリングケースのベルトを首などにかけないこと
窒息、けが原因となります。

■キャリングケースをかぶらないこと
窒息、けがの原因となります。
特にお子様がいるときはご注意ください。

⚠注意

■キャリングケースのベルトを持ってふりまわさないこと
けがや破損の原因となります。

■キャリングケースを車に装着して使用するときは、キャリングケースのベルトをしっかり固定させること
けがや破損の原因となります。

■キャリングケースにポータブルDVDプレーヤー本体を入れて持ち運ぶときは、チャックをしっかりとしめること
ポータブルDVDプレーヤー本体が落ちて、けがや破損の原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

■ 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
■ ふたの中にあるピックアップレンズの清掃はしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ ふたの中にあるピックアップレンズに触れないでください。機能に支障をきたす場合があります。
■ 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
■ 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
■ 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
■ ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源ボタンを切っておいてください。
■ 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

■ 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
■ 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。
故障の原因となります。
■ 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

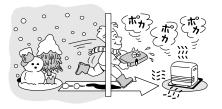
■ 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布でふきとってください。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■ “結露”はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機のACアダプターを接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

使用上のお願い（つづき）

レーザー製品の取扱いについて

- 本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品の液晶表示部に使用している蛍光管には水銀が含まれています。）

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的（ふずいてき）な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

ディスクの取扱いと用語

ディスクの取り扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、以下のディスクを再生することができます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVD ビデオ ディスク	DVD VIDEO	映像 (動画) ＋ 音声	12cm
			8cm
DVD オーディオ ディスク	DVD AUDIO	音声 ＋ 映像	12cm
			8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	映像 (動画) ＋ 音声	12cm
			8cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm (CDシングル)

以下のディスクも再生できます。
- Videoモードで記録したDVD－R/DVD－RWディスク
  (ファイナライズ済みのディスクに限ります。)
- VRモードで記録したDVD－RWディスク
  (ファイナライズ済みのディスクに限ります。)
- CD－DA(音楽用CD)又は、VIDEO CD(ビデオＣＤ)フォーマットのCD－R／CD－RWディスク

ディスクによっては再生できないものもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のマークが表示されていても、データの作り方やディスクの状態によって再生できない場合があります。
- 上記のマークが表示されていても、DVD－RAMや規格外のディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のTV方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。

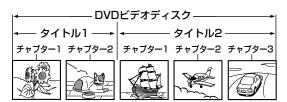
■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとはPlayback(プレイバック) Control(コントロール)の略です。)
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD (バージョン1.1)	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD (バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。 この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取扱いと用語（つづき）

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。DVDオーディオディスクは、「グループ」という大きい区切りと「トラック」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。
DVDオーディオディスクでは、これを「グループ」といいます。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。
DVDオーディオディスクでは、これを「トラック」といいます。

トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやグループ、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「グループ番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

● 再生面には手を触れないでください。
たとえば、図のように持ってください。

● ディスクに紙やシールを貼らないでください。

● ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

● シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

● 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
● 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
● ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律で禁止されています。
これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。
ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの□内のページをご覧ください。

全体

液晶画面

必ずこのスイッチを押して液晶画面部を起こします。

ディスクカバーオープンボタン 24

リモコン受光部 21

電源表示 24 75

液晶画面オープンボタン

ディスクカバー

スピーカー

電源ボタン 24 26

ズームボタン 43 56

入力切換ボタン 54 73

セットアップボタン 25 62

トップメニューボタン 30 37 54

リターンボタン 27

メニュー／番組表ボタン 20 57

決定ボタン 25 62

方向ボタン 25 34 62
(▲/▼/◄/►)

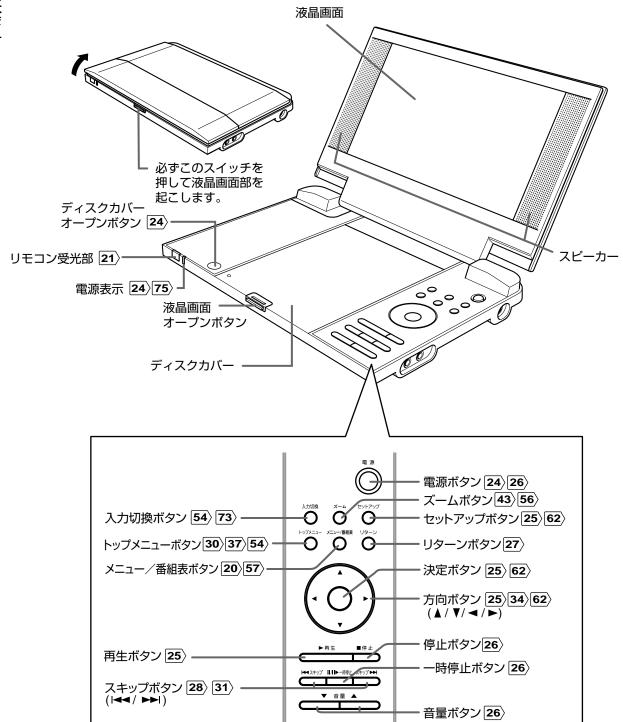
停止ボタン 26

再生ボタン 25

一時停止ボタン 26

スキップボタン 28 31
(I◄◄/►►I)

音量ボタン 26

側面

アナログ アンテナ入力 ワンセグ

アンテナ入力端子 53
（地上アナログ放送用）

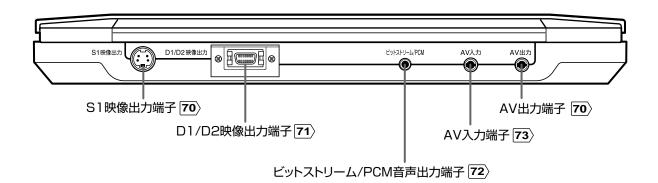
アンテナ入力端子 53
（ワンセグ放送用）

DC IN 12V

電源入力端子 22

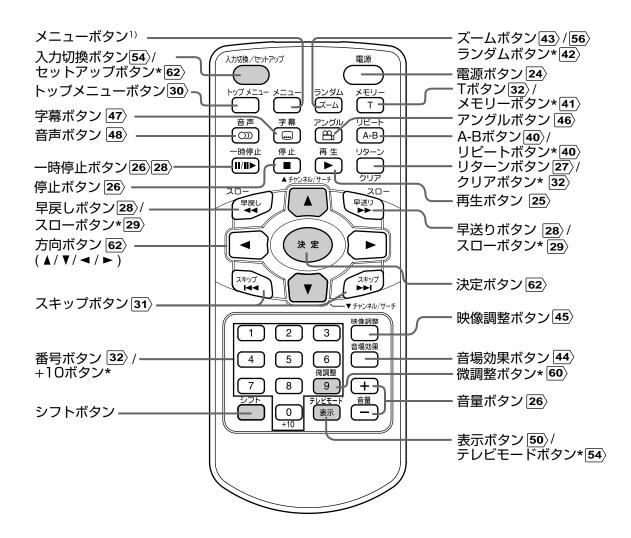
ヘッドホーン端子1 74

ヘッドホーン端子2 74

背面

各部のなまえ（つづき）

本文の操作説明はおもにリモコンを使っています。くわしくは、なまえの〔　〕内のページをご覧ください。

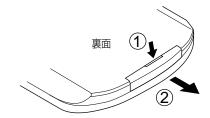
リモコン

- メニューボタン[1)]
- 入力切換ボタン 54 / セットアップボタン* 62
- トップメニューボタン 30
- 字幕ボタン 47
- 音声ボタン 48
- 一時停止ボタン 26 28
- 停止ボタン 26
- 早戻しボタン 28 / スローボタン* 29
- 方向ボタン 62 (▲ / ▼ / ◄ / ►)
- スキップボタン 31
- 番号ボタン 32 / +10ボタン*
- シフトボタン
- ズームボタン 43 / 56 ランダムボタン* 42
- 電源ボタン 24
- Tボタン 32 / メモリーボタン* 41
- アングルボタン 46
- A-Bボタン 40 / リピートボタン* 40
- リターンボタン 27 / クリアボタン* 32
- 再生ボタン 25
- 早送りボタン 28 / スローボタン* 29
- 決定ボタン 62
- 映像調整ボタン 45
- 音場効果ボタン 44
- 微調整ボタン* 60
- 音量ボタン 26
- 表示ボタン 50 / テレビモードボタン* 54

「*」のボタン
シフトボタンを押しながら、そのボタンを押すと働きます。

1) メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」 30 と同様の手順で行ないます。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

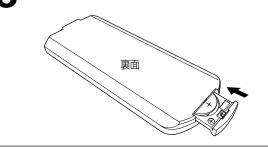
イラスト上で色が付いているボタンは、テレビを見るときに使います。

コイン型電池の入れかた

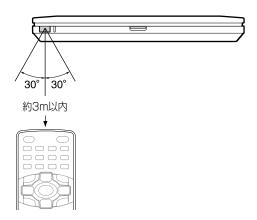
1 ツメを矢印①の方向に押しながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す

指先や爪を傷めないようご注意ください。

2 コイン型電池CR2025の ⊕ 面を上にして、コイン型電池ケースにはめこむ

コイン型電池がコイン型電池ケースから落ちないようご注意ください。

3 コイン型電池ケースを押しこむ

■ コイン型電池について
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- コイン型電池の安全上の注意は、10をご覧ください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入するとリモコンの故障の原因となります。

リモコンで操作するには

本体のリモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す

距離：リモコン受光部正面から約3m以内です。
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

■ リモコンについて
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

ACアダプターの接続

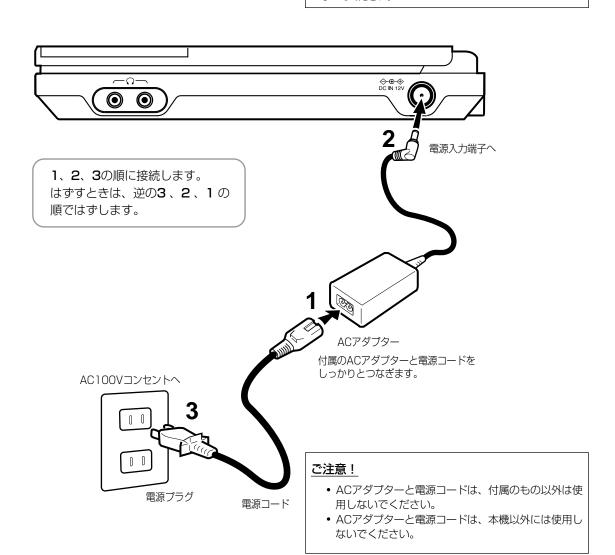
ACアダプターを接続します。
付属のバッテリーパックを使うと、屋外でも使用できます。
バッテリーパックの取り付けかたは、75をご覧ください。

⚠警告

- **電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターと電源コードを使用すること**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。

通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行なってください。

ご注意！

- ACアダプターと電源コードは、付属のもの以外は使用しないでください。
- ACアダプターと電源コードは、本機以外には使用しないでください。

再生（基本編）

画像を映してみましょう。

- ●ディスクの再生
- ●いろいろな速さでの再生
- ●見たいシーンを探す
- ●MP3/WMAオーディオファイルまたはDivX®ビデオファイルの再生
- ●JPEGファイルの再生

本書について

• 操作手順はおもにリモコンのボタンで説明していますが、リモコンと同じ名称の本体ボタンも同じように使えます。

ディスクの再生

ディスクを再生します。

□ 内の数字は本取扱説明書のページを示しています。
説明中に □ があるときは、そのページをご覧ください。

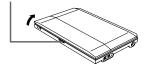
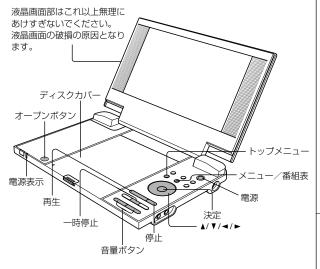
⚠注意

- **回転中のディスクに触れないこと**
  けがや故障の原因となります。
- **ふたを閉めるとき、手を入れないこと**
  手をはさみ、けがの原因となることがあります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。

DVD-V DVD-A VCD CD ディスクを再生する

■ 準備

- ACアダプターを接続します。22バッテリーパックをお使いになるときは、充電済みのバッテリーパックも取り付けてください。75
- テレビやモニターに接続して映像を楽しむときは、接続した機器の電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 音声をオーディオ機器で楽しむときは、オーディオ機器の電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。
- リモコンをお使いになる前に、リモコンに電池を入れてください。21
- ヘッドホーンをお使いになるときは、「ヘッドホーンの接続」をご覧ください。74
- 液晶画面オープンスイッチを押して、液晶画面を開きます。
- はじめてお使いになるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

必ずこのスイッチを押して
液晶画面部を起こします。

1 電源を入れる

本体またはリモコンの「電源」を押します。

本体の電源がはいり、電源表示が緑色に点灯します。
また、本体の電源ボタンが青色に点灯します。

2 ふたをあける

本体の「オープン」を押します。
ディスクカバーがあきます。

ディスクカバーは決まった範囲以上にあけることはできません。それ以上は無理にあけようとしないでください。破損の原因となります。

3 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。
はめかたが不完全だとディスクが認識されず、正常な再生ができません。また、ディスクを傷つける原因になります。

4 ふたを閉める

右手前の「クローズ」の表示付近を押して閉めます。

■ より見やすくお楽しみいただくために(テレビに接続時)

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整(シャープネス)を下げると、見やすくなります。

■ DVD-V DVD-A VCD CD について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD-V : DVDビデオディスク　DVD-A : DVDオーディオディスク
VCD : ビデオCD　CD : 音楽用CD

5 再生を始める

▶再生

「再生」を押します。

DVD-V トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール(PBC)付きビデオCD 15 を再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューを使う」をご覧ください。30

- ディスクメニュー画面は、「トップメニュー」や、「メニュー」を押して表示させる場合があります。(DVDビデオディスクによって異なります。)

DVD-A ディスクによってはメニュー画面が表示されます。「トップメニューを使う」30 と同じ方法で操作してください。

■ 停止状態から再生を始める

「再生」を押す

▶再生

お願い

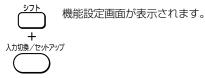
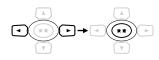
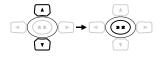
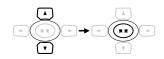
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れないでください。
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」を押して、再生を終了してください。

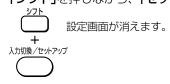
ご注意!

移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

■ 画面表示言語の変更のしかた

1 停止状態で、**「シフト」**を押しながら、**「セットアップ」**を押す

機能設定画面が表示されます。

2 方向ボタン(◀/▶)を押して「(言語メニュー)」を選び、**「決定」**を押す

3 方向ボタン(▲/▼)を押して「画面表示言語」を選び、**「決定」**を押す

4 方向ボタン(▲/▼) を押して言語を選び、**「決定」**を押す

5 **「シフト」**を押しながら、**「セットアップ」**を押す

設定画面が消えます。

ディスクの再生(つづき)

ディスクを再生する(つづき)

■ スピーカーとヘッドホーンの音量を調節する

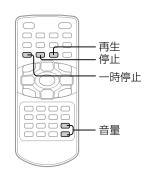
「**音量**」を押して調節する

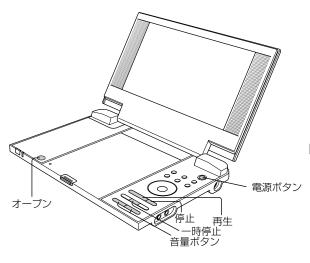
▲/＋：音量を上げる
▼/－：音量を下げる

■ 再生を一時停止する(静止画再生)

再生中に、「**一時停止**」を押す

II/II▶一時停止

普通の再生に戻すには、「**再生**」を押します。

一時停止
II/II▶

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

■ 再生を止める

「**停止**」を押す

■停止

本機は、再生が停止した箇所を記憶します。記憶を消去したい場合は、「停止」を再度押します。27

停止
■

■ 電源を切る

「**電源**」を押す

電源

■ ディスクを取り出す

本体の「**オープン**」を押し、ディスクカバーをあける

ディスクが完全に停止してから、ディスクのふちを静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。
ディスクを取り出したあとは、ディスクカバーを閉めます。

⚠注意

長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れないこと
ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。ディスクを取り出すときは十分注意してください。

禁 止

■ 続き再生機能(レジューム再生)

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生がはじまります。

- 続き再生の情報は、ディスク5枚分まで本機に記憶することができます。6枚目のディスクを入れると、一番古い記憶情報が消去されます。
- 続き再生をしないで、始めから再生したいときは、「停止」を2回押すと、記憶情報が消去されます。

お知らせ

- PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき67にはこの機能は働きません。
- ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

■ スクリーンセーバー(焼付き防止機能)について

テレビなどに接続して使うときに、テレビの画面を保護するための機能です。(焼付き防止を保証するものではありません。)
ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます(「スクリーン・セーバー」を「オン」に設定しているとき67)。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

スクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れます。
(「スクリーン・セーバー」67を「オフ」に設定してあるときは、この機能は働きません。)

■ 液晶画面について

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶画面のバックライトに使用されている蛍光管には寿命があります(寿命の目安は、常温で連続使用時約10,000時間です)。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しないときは、お求めの販売店にお問い合わせください。
- 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください。
(なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします)

■ DVDオーディオディスクの静止画について

DVDオーディオディスクには大きく分けて2種類の静止画が記録されていることがあります。

スライドショー：ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。設定の変更や操作はできません。

ブラウザブルピクチャー：
見たい静止画を選んで再生できます。方向ボタン(◀ / ▶)で静止画が切り換わります。(順番はディスクによって異なります。)また、ブラウザブルピクチャーの中でも自動的に静止画が切り換わるタイプもあります。
「リターン」を押すとディスクによっては、決められた静止画に戻る場合があります。

いろいろな速さでの再生

普通の再生以外に、違った速さで再生したり、途中で中断した続きから再生することができます。

DVD-V DVD-A VCD CD 早戻し、早送りで再生する

再生中に、リモコンの「早戻し」/「早送り」を押す

早戻し: 早戻しの再生
早送り: 早送りの再生

早送りまたは早戻しの再生に変わってからは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

再生中に、本体の「スキップ」を押し続ける

早送りまたは早戻しの再生に変わってからは、押すたびに再生する速さが切り換わります。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」を押す

お知らせ

- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。
- DVDオーディオディスクでは、早送り/早戻しできない場合があります。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。

DVD-V DVD-A VCD CD コマ送りで再生する

一時停止(静止画再生)中に、「一時停止」を押す

一時停止 [II/II▶]

押すたびに、画像をコマ送りします。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」を押す

お知らせ

- コマ送り再生中は、音声は再生されません。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、映像部分でのコマ送り再生ができる場合もあります。

DVD-V DVD-A VCD CD スローモーションで再生する

再生中に、「シフト」を押しながら「スロー」を押す

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

再生中に、「シフト」を押しながら「スロー」(◀◀)を押すと、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。
押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」を押す

お知らせ

- スローモーションで再生中は、音声は再生されません。
- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、映像部分でのスロー再生ができる場合もあります。

見たいシーンを探す

再生したいタイトル、チャプター、トラックや指定した箇所を、簡単に探せます。

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
DVDオーディオディスクは、「グループ」という大きい区切りと「トラック」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

トップメニューを使う

DVD-V DVD-A VCD CD

1 「トップメニュー」を押す

トップメニューが表示されます。

例

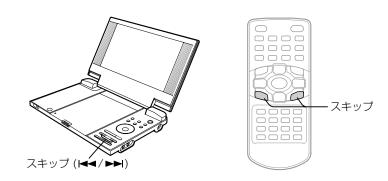
2 方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►) を押して、再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 「決定」を押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

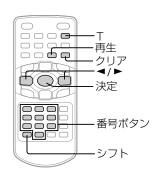
- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをTITLE(タイトル)ボタンと呼んでいる場合があります。

DVD-V DVD-A VCD CD 前後のチャプター／トラックへスキップする

「スキップ」を繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して2度押しすると、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

見たいシーンを探す(つづき)

DVD-V DVD-A VCD CD 番号を指定してシーンを探す

1 「T」を数回押して、「サーチ」の表示を出す

メモリー T

押すたびに、表示が変わります。

例：DVD-V

例：DVD-A

例：VCD CD

2 方向ボタン(▲ / ▼) を押して、シーンを探す方法を選ぶ

タイトル、チャプター、グループ、トラックで探したい場合は、「タイトル／チャプター」、「グループ／トラック」、「トラック」を選びます。
見たいシーンを、ディスクの経過時間を指定して探したい場合は、「タイム」を選びます。

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

• タイトル／チャプターの例：25を入力する

2 → 5

DVDビデオディスクでは、「タイトル」と「チャプター」の入力位置を方向ボタン(◄ / ►)で切り換えられます。

• タイムサーチの例：1時間25分30秒の経過時間を入力する

1 → 2 → 5 → 3 → 0

4 「再生」、または「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

• 番号を設定前に戻す場合は、「シフト」を押しながら、「クリア」を押してください。
• タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
• ディスクやシーンによっては、経過時間を使ってシーンを探すことができないことがあります。

■ DVDオーディオディスクのボーナスグループの再生

DVDオーディオディスクには、「ボーナスグループ」と呼ばれるものが記録されていることがあります。
これを再生しようとすると、自動的にキーナンバーを入力する画面になります。番号ボタンでキーナンバーを入力し、「決定」を押してください。入力したキーナンバーが正しければ、このボーナスグループの再生ができます。キーナンバーの入手方法は、ディスクによって異なりますので、ジャケット等を参照してください。

お知らせ

• ディスクを取り出したときなどは、入力したキーナンバーが消去されます。必要なときは、もう一度キーナンバーを入力してください。
• メモリー再生などでボーナスグループを再生したいときは、あらかじめキーナンバーを入力しておいてください。

目印をつけて好きなシーンを再生する(ブックマーク機能)

■ 目印(ブックマーク)をつける

3箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「一時停止」を押して、再生を一時停止させる

2 「T」を数回押して、以下の表示を出す

メモリー T

例

ブックマーク	1	--:--:--
ブックマーク	2	--:--:--
ブックマーク	3	--:--:--

3 方向ボタン(▲ / ▼) を押して、「ブックマーク」の番号(1、2、3)を選び、ブックマークしたい場面で「決定」を押す

空いている(「——:——:——」表示)番号を選びます。

- 取り消すときは、「T」を押して表示を消します。

すでに登録済みの番号は、「シフト」を押しながら「クリア」を押すと、設定内容が消えて「——:——:——」表示に変わります。

4 「決定」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。

- ブックマークは、電源を切ったり、ディスクカバーをあけると消えます。

■ ブックマークの箇所から再生する

左の「目印(ブックマーク)をつける」を行なって、あらかじめブックマークを登録しておいてください。

1 再生中または停止中に、「T」を数回押して、以下の表示を出す

例

ブックマーク	1	00:12:50
ブックマーク	2	00:04:29
ブックマーク	3	00:21:36

2 方向ボタン(▲ / ▼) を押して、「ブックマーク」の番号(1、2、3)を選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

お知らせ

- ディスクや場面によっては、ブックマークに登録できないことがあります。

MP3/WMAオーディオファイルまたはDivX®ビデオファイルの再生

MP3/WMA オーディオファイルまたはDivX®ビデオファイルの再生ができます。

MP3/WMAオーディオファイルまたはDivX®ビデオファイルの再生

■ 準備

このプレーヤーに適合したMP3/WMA対応ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R
サンプリング周波数：	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート：	WMA：48 kbps ～192 kbps（CBR） MP3：32 kbps ～ 320kbps（CBR） DivX：8Mbps以下
フォーマット：	MODE 1
MP3ファイルシステム：	ISO9660レベル,UDF without interleave
DivXファイルシステム：	ISO14496
ファイル名（MP3）：	8文字以下で、拡張子「MP3」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.MP3」） “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。 50バイト以下
ファイル名（WMA）：	8文字以下で、拡張子「WMA」が付け加えられていること。（例「○○○○○○○○.WMA」） “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。 50バイト以下
ファイル名（DivX）：	8文字以下で、拡張子「avi」または「divx」が付け加えられていること。 （例「○○○○○○○○.avi」、「○○○○○○○○.divx」） “?!><+*}{`[@]:;¥ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。 50バイト以下
ファイルの総数：	650以下
WMAコーデック方式版：	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)
DivXコーデック方式版：	3、4、5、6 （再生できるDivX®ビデオファイル（Ver.6を含む）は、通常再生にのみ対応しています。）
DivX解像度：	720×576(同等もしくはそれ以下)

1 **MP3/WMA/DivX®ファイルが記録されているディスクを入れる**

メニューが表示されます。

2 **方向ボタン（▲/▼/◄/►）で再生したいファイル名を選択する**

3 **「決定」を押す**

再生が始まります。

■ 再生を停止する

「停止」を押す

■ 再生を一時停止する

再生中に、**「一時停止」**を押す

一時停止

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ

- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力されるMP3/WMA/DivX®ファイルの音声は、「音声出力設定」に関係なく、リニアPCM音声で出力されます。66
- 「停止」を押して再生を停止したあとに、続けて「再生」を押した場合、再生は止めた位置からではなくその曲の最初から始まります。
- スキップ 、リピート 、ランダム の各機能も使えます。

インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますので、ご注意ください。

Windows Media™、及びWindows®ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JPEGファイルの再生

CD-Rなどに記録されたJPEGファイル(例えばデジカメで撮影した映像など)を再生できます。

JPEGファイルの再生

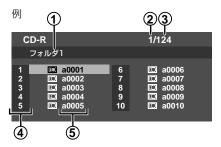
■ 準備

JPEG形式の画像が記録されたディスクを準備してください。38

1 JPEGファイルの含まれたディスクをはめ、ディスクカバーを閉める

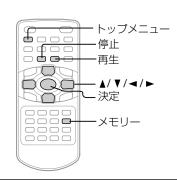
メニューが表示されます。
コダック ピクチャーCDの場合、スライドショーが自動的にスタートします。また、メニューは表示されません。(次頁参照)

2 方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►) を押して、ファイルを選ぶ

例

① フォルダ名
② 最後に選んだファイルの番号
③ ディスク内のファイル総数(最大1500)
④ ファイル番号
⑤ ファイル名

3 「再生」、または「決定」を押す

選んだ画像からスライドショーが始まります。最後まで終わるとトップメニューに戻ります。

JPEGファイルの再生(つづき)

JPEGファイルの再生(つづき)

■ **スライドショーを停止する**

「停止」を押す

■ **スライドショーを一時停止する**

再生中に、**「一時停止」**を押す

スライドショーに戻すには、「再生」を押します。

■ **他の画像に切り換えるには**

再生中に、**「スキップ」**を押す

⏮：前の画像に切り換える
⏭：次の画像に切り換える

お知らせ

- ファイルのサイズによっては、画像の表示に時間がかかったり、画像が表示されないことがあります。

■ **画像を回転させる**

再生中に、方向ボタン(◄ / ►) を押す

◄：画像が反時計回りに90度回転します。
►：画像が時計回りに90度回転します。

■ **画像を拡大する**

再生中に、**「ズーム」**を押す

ズーム再生します。

×2 → ×3 → ×4 → オフ

ズーム再生中、方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して画像を移動させることができます。
もう一度「ズーム」を押すと、ズーム再生が終了します。

■ **好きな順番で再生する**

ファイルを選んで好きな順番で再生します。12ファイルまで設定できます。

1 再生中または停止中に、**「シフト」**を押しながら**「メモリー」**を押す
以下の画面が表示されます。

例

2 方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►) を押して再生順の番号を選び、番号ボタンでファイルの番号を入力する
- 入力した番号を修正したいときは、ファイル番号を選び、「シフト」を押しながら「クリア」を押して番号を消してから、番号ボタンで入力し直します。
入力をすべて取り消したいときは、方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して「オールクリア」を選び、「決定」を押します。

3 手順2を繰り返して、ファイルを並べる

4 方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して「プログラム再生」を選び、**「決定」**を押す
設定した順に再生が始まります。

プログラム再生を解除するには

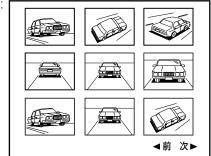
「停止」を2回押して、再生を止める

お知らせ

- ディスクによっては機能しない場合があります。
- 設定した順番は、本機の電源を切ったり、ディスクカバーをあけると消えます。

■ サムネイルモード

1 再生中または停止中に、**「トップメニュー」**を押す
サムネイル形式の表示に変わります。

例：

2 方向ボタン(▲/▼/◄/►)を押して、画像を選び、**「再生」**を押す
選んだ画像からスライドショーが始まります。

方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して「◄ 前」を選び、**「決定」**または**「再生」**を押すと、前の9枚の画像が表示されます。

方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して「次 ►」を選び、**「決定」**または**「再生」**を押すと、次の9枚の画像が表示されます。

「停止」を押すと、メニュー画面に戻ります。

■ コダックピクチャーCDを再生する

コダックピクチャーCDを入れる
スライドショーが自動的に始まります。

■ランダムに表示するには

「シフト」を押しながら、**「ランダム」**を押す

シフト
＋
ランダム
ズーム

押すたびに、モードが切り換わります。

ランダムオフ：　普通の再生に戻ります。
ランダムオン：　ファイルを順不同に表示します。

■繰り返し表示するには

「シフト」を押しながら、**「リピート」**を押す

「リピート」を繰り返し押して、リピートモードを選択します。

リピートファイル：　選択したファイルを表示しつづけます。
リピートフォルダ：　選択したフォルダ内のファイルを繰り返し表示します。

JPEGファイルの再生(つづき)

JPEGファイルの再生(つづき)

■対応JPEGファイル

本機で対応できるJPEGディスクは、以下のものに限られています。
使用する前にお確かめください。

- メディアの種類： CD-ROM、CD-R、CD-RW
- ファイルシステム： ISO9660、UDF without interleave
- ファイル名： 8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。
(例「○○○○○○○○.JPG」)
“？！＞＜＋＊}{` [@:]：；＼／．，”etc.など、特殊な文字が使われていないこと。
英数字のみで構成されていること。
- ファイルサイズ： １０Mバイト以下
- フォーマット： BASELINE、PROGRESSIVE
- 解像度： Baseline JPEG 最大5760×4320
Progressive JPEG 最大5760×4320

お知らせ

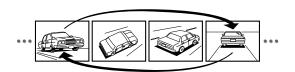
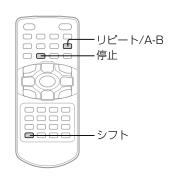
- ディスクに記録されている状態によっては、再生できない場合もあります。

再生（応用編）

こんな使いかたもできます。

- リピート再生
- メモリー再生
- ランダム再生
- ズーム再生
- 音場効果の切換え
- 画質の切換え
- アングルの切換え
- 字幕の表示と切換え
- 音声の切換え
- 使用状態の表示

リピート再生

タイトルやその中のチャプターまたはトラックを繰り返し再生できます。

DVD-V DVD-A VCD CD タイトル、チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

再生中に、「シフト」を押しながら「リピート」を押す

押すたびに、リピートモードが以下のように切り換わります。

リピートオフ

対象	モード	内容
	リピートオフ	普通の再生に戻ります。
DVD-V	チャプターリピート	同じチャプターを繰り返し再生します。
DVD-A	トラックリピート	同じトラックを繰り返し再生します。
DVD-V	タイトルリピート	同じタイトルを繰り返し再生します。
DVD-A	グループリピート	同じグループを繰り返し再生します。
VCD CD	トラックリピート	同じトラックを繰り返し再生します。
VCD CD	ディスクリピート	ディスク全体を繰り返し再生します。

■ **普通の再生に戻すには**

「リピートオフ」が表示されるまで、**「シフト」**を押しながら、繰り返し**「リピート」**を押す

「停止」を2回押すと、リピートモードを解除して再生を終了します。

お知らせ

- ディスクによっては、繰り返し再生できないものがあります。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、繰り返し再生は解除されます。

DVD-V DVD-A VCD CD 範囲を指定して繰り返し再生する

1 繰り返し再生したい範囲の始点(A)で、「A-B」を押す

リピート
A-B

ABリピート_A

2 繰り返し再生したい範囲の終点(B)で、「A-B」を押す

リピート
A-B

自動的にA点に戻り、指定した範囲(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

ABリピート_B

■ **普通の再生に戻すには**

「A-B」を押す

リピート
A-B

「停止」を2回押すと、A-Bリピートモードを解除して再生を終了します。

お知らせ

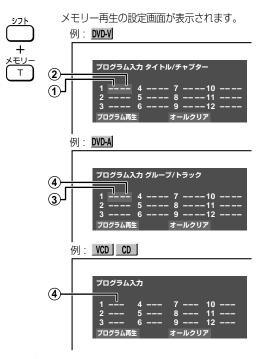
- ディスクによっては、A-B間の繰り返し再生ができないものがあります。
- 選んだタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、繰り返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-B」以外のボタン操作はできない場合があります。

メモリー再生

再生したいタイトルやチャプター、トラックを組み合わせ、好きな順番で再生できます。最大12件まで設定できます。

DVD-V DVD-A VCD CD 好きな順番でタイトル、チャプター、トラックを設定し、再生する

1 停止中に、「シフト」を押しながら「メモリー」を押す

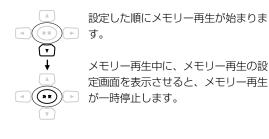
メモリー再生の設定画面が表示されます。

① タイトル番号
② チャプター番号
（チャプターが含まれていないときや、入力しようとした番号のチャプターが存在しないときは、入力は受けつけられません。）
③ グループ番号
④ トラック番号
（入力しようとした番号のトラックが存在しないときは、入力は受けつけられません。）

2 再生したい順番に番号を入力し、「決定」を押す

他の番号を入力するときは、方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して入力場所を選びます。

3 方向ボタン(▼)を押して、「プログラム再生」を選び、「決定」を押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が一時停止します。

■ **設定内容を変更するには**

1 メモリー再生の設定画面を表示させ（手順1）、方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して、変更したい項目にカーソルを合わせる
2 選んだ項目を、手順2を行なって変更する

■ **設定内容を取り消すには**

1 メモリー再生の設定画面を表示させ（手順1）、方向ボタン(▲ / ▼ / ◄ / ►)を押して、取り消したい項目にカーソルを合わせる
2 **「シフト」**を押しながら、**「クリア」**を押す

■ **メモリー再生から普通の再生に戻すには**

1 手順1を行ない、メモリー再生の設定画面を表示させる
2 「停止」を押す

このとき、メモリー内容は解除されません。

お知らせ

- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- 本機の電源を切ったときやディスクカバーをあけたときは、設定したメモリー内容が解除されます。

ランダム再生

チャプターやトラックを順不同に再生できます。

DVD-V DVD-A VCD CD チャプターやトラックを順不同に再生する

「シフト」を押しながら「ランダム」を押す

押すたびに、ランダムモードが以下のように切り換わります。

ランダム オフ　普通の再生に戻ります。
↓
ランダム オン　チャプターやトラックを順不同に再生します。

再生中、「ランダム」を押すと、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ **普通の再生に戻すには**

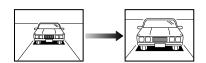
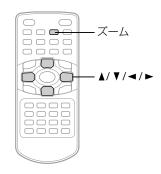
「ランダム オフ」が表示されるまで、**「シフト」**を押しながら繰り返し**「ランダム」**を押す

「停止」を2回押すと、ランダムモードを解除して再生を終了します。

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ランダム再生は解除されます。

ズーム再生

画面を拡大（ズーム再生）できます。

DVD-V VCD ズーム再生する

1 **再生中、スロー再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に、「ズーム」を押す**

ランダム ズーム

ズーム再生状態になり、ズームアイコンが表示されます。

ズーム

例

x2

2 **ズームの倍率と位置を選ぶ**

倍率

以下の種類が選べます。
－拡大（2倍、3倍、4倍）
－通常再生（オフ）

ランダム ズーム

「ズーム」を繰り返し押す

x2	2倍表示
x3	3倍表示
x4	4倍表示
オフ	通常の大きさ

位置

移動する

方向ボタン（▲ / ▼ / ◄ / ►）を押す

■ **普通の再生に戻すには**

「オフ」が表示されるまで、**「ズーム」**を繰り返し押す

ランダム ズーム

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- 電源を切ったり、ディスクカバーをあけると、ズーム再生は解除されます。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、映像部分でのズーム再生ができる場合もあります。

音場効果の切換え

音場効果を簡単に切り換えられます。

DVD-V DVD-A VCD CD 音場効果を切り換える

1 「音場効果」を押す

音場効果

設定画面が表示されます。

3D オフ

2 「音場効果」を押して、音場効果を選ぶ

音場効果

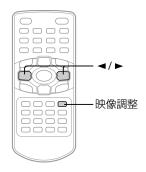
押すたびに、設定が切り換わります。

3D オフ： 普通の音声です。
3D オン： 2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備によって異なります。
- 実際の音場効果は、ディスクによって異なります。

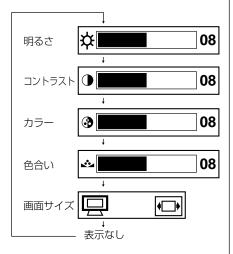
画質の切換え

画質をお好みに合わせて簡単に切り換えられます。

DVD-V DVD-A VCD CD 画質を切り換える

1 「映像調整」を押す
(本機の液晶画面で画像を見る場合に操作できます。)

映像調整

設定画面が表示されます。

押すたびに、設定項目が以下のように切り換わります。

2 方向ボタン(◄ / ►)を押して、設定を変更する

明るさ　　　：0(暗)から16(明)
コントラスト：0(低)から16(高)
カラー　　　：0(薄)から16(濃)
色合い　　　：0(緑)から16(赤)
画面サイズ：16:9 ワイド／4:3 ノーマル

アングルの切換え

複数の角度（マルチアングル）で記録されている場所では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

   ・・・・・

DVD-V DVD-A VCD CD アングルを切り換える

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に、「アングル」を押す

アングル

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、画面にアングルアイコン()が表示されます。
アングルアイコンの表示中に「アングル」を押すと、記録されているアングルの数が表示されます。

例

1/5

再生中のディスクに、マルチアングルで記録されている部分が含まれていると、アングルアイコンとアングルの数がタイトルごとに表示されます。
⃠ が表示されたときは、マルチアングル記録部分ではないため、アングルの切換えはできません。

2 「アングル」を押して、アングルを選ぶ

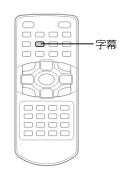
押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に画像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、マルチアングルで記録されている映像部分でアングルが切り換えられる場合もあります。

字幕の表示と切換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。

複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。

DVD-V 字幕の言語を切り換える

1 再生中に、「字幕」を押す

字幕

現在の字幕設定が表示されます。

例

1/5 日本語

2 字幕設定の表示中に、「字幕」を押す

字幕

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、**「字幕」**を「オフ」と表示されるまで数回押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

お知らせ

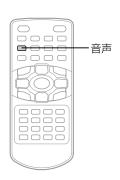
- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。
- 映像が記録されたDVDオーディオディスクのときは、字幕が記録されている映像部分で字幕を選べる場合もあります。

音声の切換え

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

DVD-V DVD-A VCD CD 音声を切り換える

1 再生中に、「音声」を押す

音声

現在の音声設定が表示されます。

例

1/3 D 2 ch 日本語

音声方式

2 音声設定の表示中に、「音声」を押す

音声

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、**「音声」**を押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

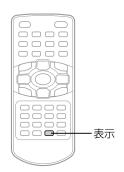
■ 出力される音声の種類(サンプリング周波数/量子化ビット数)

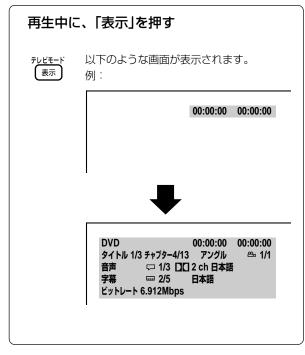
ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力」54 58 と音声出力					
			「ビットストリーム」		「アナログ2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	スピーカー/ヘッドホーン端子/AV出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
	リニアPCM	48 kHz	PCM	○	×	○	PCM	○
		96 kHz	PCM*	○	×	○	PCM*	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×
	MPEG1, MPEG2		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
ビデオCD	MPEG1		ビットストリーム	○	ビットストリーム	○	PCM	○
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		PCM	○	PCM	○	PCM	○
	DTS		ビットストリーム	×	ビットストリーム	×	ビットストリーム	×
DVDオーディオディスク	リニアPCMまたはパックドPCM	44.1 kHz/16 bit	PCM	○	×	○	PCM	○
		48 kHz/16 bit	PCM	○	×	○	PCM	○
		88.2 kHz/16 bit	PCM*	○	×	○	PCM*	○
		96 kHz/16 bit	PCM*	○	×	○	PCM*	○
		176.4 kHz/16 bit	PCM*	○	×	○	PCM*	○
		192 kHz/16 bit	PCM*	○	×	○	PCM*	○

PCM*:ダウンサンプリング PCM

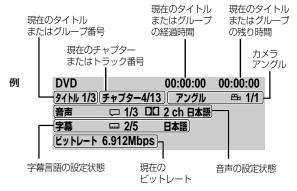
- ビットストリーム/PCM音声出力端子から出力される88.2kHz以上の信号は、以下の場合にはダウンサンプリングされた信号(44.1kHzまたは48kHz)になります。
  −音場効果を「3D」に設定したとき。44
  −著作権保護処理されたディスクのとき。
- 著作権保護されたディスクの場合、信号は16bitになります。
- DVDオーディオディスクの再生は、2チャンネル出力となります。

使用状態の表示

ディスクの使用状態や本機の操作内容などを、画面で確認できます。

DVD-V DVD-A VCD CD 使用状態の表示

再生中に、「表示」を押す

■ 画面表示を消す

「表示」を押す

■ DVDビデオディスクやDVDオーディオディスクを再生しているとき

■ ビデオCDまたは、音楽用CDを再生しているとき

お知らせ

ディスクによっては、これらの機能が働かないものもあります。

テレビを見る

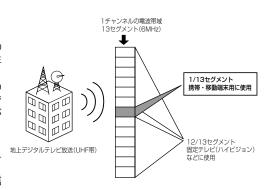
本機でテレビ放送の視聴ができます。

本機でご覧になれるテレビ放送

本機では、ワンセグ放送、地上アナログ放送、ケーブルテレビ、FMラジオ放送を視聴することができます。
本機は地上デジタル放送(ハイビジョン画質)は受信できません。ワンセグ放送の受信となります。

ワンセグとは

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。
1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。

- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年末までに放送が開始される予定です。
  ワンセグは、２００６年４月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
  安定した映像と音声、およびデータ放送が特徴です。
- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人地上デジタル放送推進協会　http://www.d-pa.org/

ワンセグ放送と地上アナログ放送の主な特徴

	ワンセグ放送	地上アナログ放送
受信状態	アナログ放送よりも安定して電波を受信できます。	移動中や電波の弱い地域では、映像が乱れたり、電波を受信できないことがあります。
画　質	携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。	受信状態の良い場所では、良い画質でご覧になれます。
受信地域	放送が開始されたばかりの時は、受信できる地域が限られます。	住居地域での放送を受信することができます。

■ アナログ放送からデジタル放送への移行について

●デジタル放送への移行スケジュール

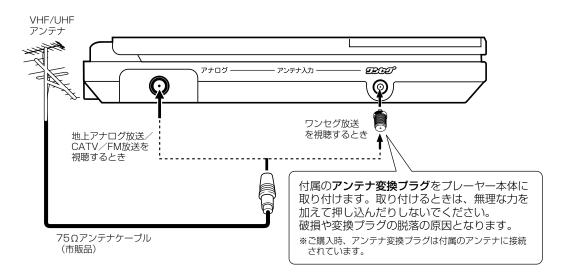
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は、2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

■ 地上デジタル放送への対応について

●地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。その際には、受信チャンネルの設定を変更する必要があります。

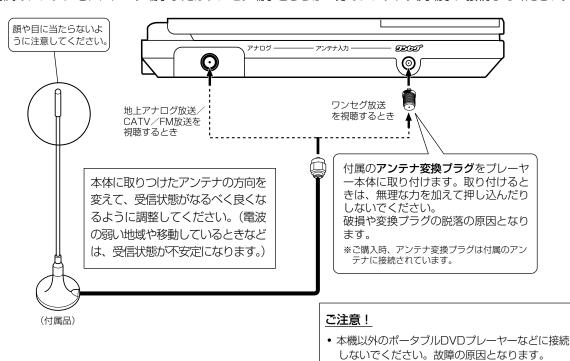
アンテナの接続（ワンセグ放送／地上アナログ放送）

屋内でテレビを見るときの接続

アンテナケーブルを、アナログ端子またはワンセグ端子どちらか一方のアンテナ入力端子に接続してください。

屋外でテレビを見るときの接続

屋外で使うときは、ポータブルDVDプレーヤー本体に付属のバッテリーパックを取り付けて、あらかじめ十分に充電しておいてください。75
付属のアンテナを、アナログ端子またはワンセグ端子どちらか一方のアンテナ入力端子に接続してください。

ご注意！

- 本機以外のポータブルDVDプレーヤーなどに接続しないでください。故障の原因となります。

ワンセグ放送を見る

チャンネル設定をする(オートプリセット)

ワンセグ放送の受信可能なチャンネルを自動的に設定して記憶させます。(オートプリセット)

本機は、チャンネル設定をしていない状態で出荷されています。はじめてワンセグ放送をご覧になるときは、必ずこのページの手順でチャンネル設定(オートプリセット)を行なってください。

1 本体またはリモコンの「入力切換」を繰り返し押して、「テレビモード」を選ぶ

「ノーマル」→「AV入力」→「テレビモード」

2 「シフト」を押しながら、「テレビモード」を繰り返し押して、「DTV」を選ぶ

シフト ＋ テレビモード(表示)

トップメニュー

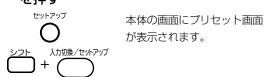
※「シフト」+「テレビモード」の代わりに、本体の「トップメニュー」でも選べます。

TV　: VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV　: ケーブルテレビ
FM　: FMラジオ放送
DTV　: ワンセグ放送

- 選択された放送は、本体の画面に表示されます。
- はじめて「DTV」を選んだとき、「チャンネル設定をしてください」というメッセージが表示されます。手順3に進んでください。

3 本体の「セットアップ」またはリモコンの「シフト」を押しながら、「セットアップ」を押す

本体の画面にプリセット画面が表示されます。

4 方向ボタン(◀)または番号ボタンの1を押して、「1：はい」を選ぶ

チャンネル設定をしますか？

1：はい　　0：いいえ＊

受信できるチャンネルを自動的に探して記憶します。

お知らせ

- オートプリセット時の地域コード等の入力は必要ありません。
- オートプリセットを行なうと、設定済みのチャンネルはすべて消えます。
- 電波が弱いと、受信できない場合があります。
- オートプリセットを行なう場所によっては、複数の放送局が1つのチャンネルで受信できる場合があります。たとえば、NHK大阪とNHK神戸の両方を受信できる大阪府と兵庫県の県境などの地域では、NHK大阪とNHK神戸の両方を受信して、それぞれを「1－1」、「1－2」というように、チャンネルを枝番で表示します。

■ 工場出荷状態にもどすには

「クリア」を押したあと、「決定」を押すと、記憶したチャンネルを全て消去します。

テレビを見る(ワンセグ)

1 54ページの手順1、2を行ない「DTV」を選ぶ

2 方向ボタン(▲ / ▼)で選局する

■オートプリセットされている場合

チャンネル設定されたチャンネルを方向ボタン(▲/▼)で切り換えます。

※ 本体の方向ボタン(▲/▼)でも選局できます。番号ボタンでもできます。見たいチャンネルの番号を押してください。

- 複数の放送局が1つのチャンネルにプリセットされていて、そのうちのどれかを選ぶときは、そのチャンネルの番号のボタンを、間隔をあけて繰り返し押します。
  (例：「3－2」を選ぶ：番号ボタン3を押す→(3－1の放送が映る)(「3－1」) →もう一度番号ボタン3を押す(「3－2」))
  間隔をあけずに続けて押すと、二けたの数字の入力とみなされ、上の例では33チャンネルが選局されます。

■手動でチャンネルサーチする場合

例えば、お住まいの地域から離れたところで、一時的にその地域で受信できるチャンネルを探します。

：「シフト」を押しながら、方向ボタン(▲)を押すと、受信できるチャンネルを順方向にサーチします。チャンネルが見つかるとサーチを終了します。ちがうチャンネルを見たいときは、もう一度ボタンを約１秒押し続けて、受信できるチャンネルを　サーチします。

：「シフト」を押しながら、方向ボタン(▼)を押すと、受信できるチャンネルを逆方向にサーチします。

- ここでサーチしたチャンネルは記憶されません。

お知らせ

- 電波が弱いと受信できない場合があります。
- データ放送、緊急警報放送は受信できません。また、地上デジタル放送の双方向サービスは利用できません。
- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

ワンセグ放送を見る（つづき）

■ 画面を縮小して表示させる

本機には、画面縮小機能がついております。
お好みに合わせて設定してください。

番組視聴中に**「ズーム」**を押す

押すたびに画面のサイズが変わります。

75% → 100% → 50%（→ 75%に戻る）

■ 音声を切り換える

「音声」を押す

現在の音声設定が本体の画面に表示されます。
押すたびに音声が切り換わります。

- ステレオ放送の場合
  通常の放送はステレオで放送されています。「音声」を押してもステレオとモノラル音声の切換えはありません。
  画面表示
  主音1（ステレオ） → 副音1（ステレオ） → 主音1/副音1（ステレオ） → 消音（→ 主音1に戻る）
- 二カ国語放送の場合
  画面表示
  主音1 → 副音1 → 主音1/副音1 → 消音（→ 主音1に戻る）
- マルチ放送の場合
  画面表示
  主音1 → 副音1 → 主音1／副音1 →
  主音2 → 副音2 → 主音2／副音2 → 消音（→ 主音1に戻る）

■ 字幕を表示する

「字幕」を押す

押すたびに字幕が切り換わります。

現在の字幕情報 → 字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF（→ 現在の字幕情報に戻る）

放送によって字幕の内容が異なり、字幕放送がされていない番組もあります。

■ 現在選ばれているチャンネルを確認する

「表示」を押す

現在選ばれているチャンネルの番号が本体の画面に表示されます。

- 「シフト」を押しながら、「テレビモード」を押すと、表示が切り換わります。

TV	：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV	：ケーブルテレビ
FM	：FMラジオ放送
DTV	：ワンセグ放送

■ 番組表と番組内容を表示する

番組表や番組内容を表示することができます。

1 番組視聴中に本体の「**メニュー／番組表**」またはリモコンの「**メニュー**」を押す

チャンネルリストが表示されます。

方向ボタン(▲/▼)でチャンネルを選び「決定」を押すと、選局できます。

2 方向ボタン(▲/▼)でチャンネルを選び、方向ボタン(▶)を押す

選んだチャンネルの番組表が表示されます。

3 方向ボタン(▲/▼)で番組内容を見たい番組を選び、方向ボタン(▶)を押す

番組内容が表示されます。

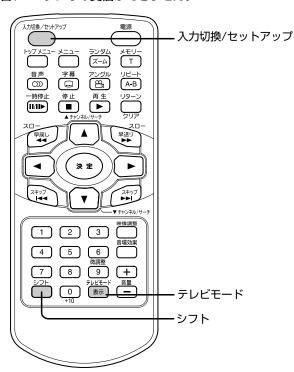
お知らせ

- 番組表または番組内容表示中に「メニュー」を押すと、視聴していた番組に戻ります。
- 方向ボタン(◀)を押すと、前画面に戻ります。
- 番組に関するデータが取得されていない場合は番組表や番組内容を表示できません。

ワンセグ放送受信時に表示される文字(字幕や番組表など)は、株式会社リコーがデザイン制作したリコーJetフォントを使用しています。

地上アナログ放送を見る

チャンネルを設定する(オートプリセット)

地上アナログ放送、ケーブルテレビ、FMラジオ放送の受信可能なチャンネルを自動的に設定して記憶させせます。(オートプリセット)
FMラジオをお楽しみいただく際は、事前にオートプリセットを行なってください。オートプリセットをしない場合、FMラジオの受信ができません。

受信できる範囲

VHF　：1～12チャンネル
UHF　：13～62チャンネル
CATV：C13～C63チャンネル
FM　：76.0～90.0MHz
(モノラル)(16局分まで)

- テレビ放送は、上記NTSC方式だけに対応しています。
  そのほかの放送方式には対応しておりません。
- 受信する音声はモノラルです。

1 本体またはリモコンの「入力切換」を繰り返し押して、「テレビモード」を選ぶ

「ノーマル」→「AV入力」→「テレビモード」

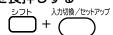
2 「シフト」を押しながら、「テレビモード」を押して、オートプリセットをする放送の種類を選ぶ

シフト + テレビモード(表示)

※「シフト」+「テレビモード」の代わりに、本体の「トップメニュー」でも選べます。

TV　：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV　：ケーブルテレビ
FM　：FMラジオ放送
DTV　：ワンセグ放送

- 選択された放送は、本体の画面に表示されます。

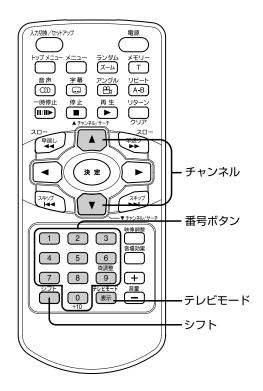
3 本体の「セットアップ」またはリモコンの「シフト」を押しながら、「セットアップ」を長押しする

受信できるチャンネルを自動的に探して記憶します。

お知らせ

- オートプリセット時の地域コード等の入力は必要ありません。
- オートプリセットを行なうと、設定済みのチャンネルはすべて消えます。
- 電波が弱いと、受信できない場合があります。
- 画像がよくないときは、チャンネルの微調整を行なってみてください。60

テレビを見る／FMラジオを聴く

■ 準備

- チャンネル設定をしてください。57

1 本体またはリモコンの「入力切換」を繰り返し押して、「テレビモード」を選ぶ

入力切換／セットアップ

「ノーマル」→「AV入力」→「テレビモード」

2 「シフト」を押しながら、「テレビモード」を押して、見たい／聴きたい放送の種類を選ぶ

※「シフト」+「テレビモード」の代わりに、本体の「トップメニュー」でも選べます。

TV　：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV　：ケーブルテレビ
FM　：FMラジオ放送
DTV　：ワンセグ放送

3 方向ボタン(▲ / ▼)で選局する

■オートプリセットされている場合

チャンネル設定されたチャンネルを、方向ボタン(▲/▼)で切り換えます。
※本体の方向ボタン(▲/▼)でも選局できます。
番号ボタンでもできます。見たいチャンネルの番号を押してください。
間隔をあけずに続けて押すと、二けたの数字の入力とみなされます。

■オートプリセットしても受信できない場合、または屋外で使うときなどにその地域で受信できるチャンネルを見る場合

:「シフト」を押しながら、方向ボタン(▲)を押すと、受信できるチャンネルを順方向にサーチします。チャンネルが見つかるとサーチを終了します。ちがうチャンネルを見たいときは、もう一度ボタンを約1秒押し続けて、受信できるチャンネルをサーチします。

:「シフト」を押しながら、方向ボタン(▼)を押すと、受信できるチャンネルを逆方向にサーチします。

- ここでサーチしたチャンネルは記憶されません。

地上アナログ放送を見る（つづき）

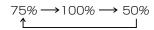
テレビを見る／FMラジオを聴く（つづき）

■ 画面を縮小して表示させる

本機には、画面縮小機能がついております。
お好みに合わせて設定してください。

番組視聴中に「ズーム」を押す

ランダム
ズーム

押すたびに画面のサイズが変わります。

■ 受信チャンネルの微調整をする

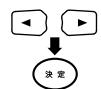
現在表示しているチャンネルを微調整します。
画像や音声が一番きれいになるように調整してください。（受信状態によっては、調整してもきれいにならない場合があります。）

1) 微調整したいチャンネルを選局する 57

2)「シフト」を押しながら「微調整」を押す

微調整
9

【FINE-TUNE】が表示され、微調整の画面になります。

3) 方向ボタン(◄/►)で調整し、「決定」ボタンを押す

微調整した設定が記憶されます。

- 微調整を中止する場合は、もう一度「微調整」を押してください。【FINE-TUNE】の表示が消えます。

■ 現在選ばれているチャンネルを確認する

「表示」を押す

現在選ばれているチャンネルの番号が本体の画面に表示されます。

- 「シフト」を押しながら、「テレビモード」を押すと、表示が切り換わります。

TV	：VHF/UHFの地上アナログ放送
CATV	：ケーブルテレビ
FM	：FMラジオ放送
DTV	：ワンセグ放送

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

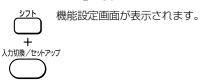
● 初期設定の変更と機能の設定

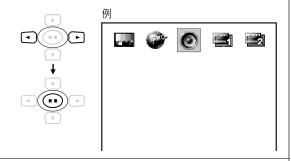
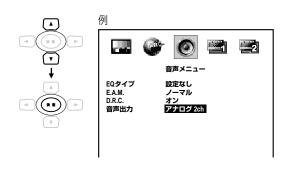
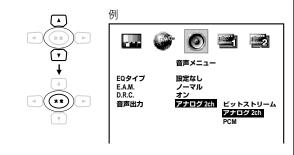
初期設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

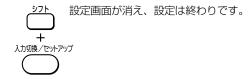
DVD-V DVD-A VCD CD 設定のしかた

1 停止中に、「シフト」を押しながら、「セットアップ」を押す

機能設定画面が表示されます。

2 方向ボタン(◄ / ►)を押して、設定したい項目を選び、「決定」を押す

（次ページをご覧ください。）

3 方向ボタン(▲ / ▼)を押して、設定したい項目を選び、「決定」を押す

4 64ページ以降の説明を参照して、方向ボタン(▲ / ▼)などで設定し、「決定」を押す

5 「決定」を押して、手順2～4を繰り返して他の項目も設定する

6 「シフト」を押しながら、「セットアップ」を押す

設定画面が消え、設定は終わりです。

項目		設定内容	設定の詳細ページ
TV画面メニュー			
TV画面形状	DVD-V	テレビに接続してご覧になるとき、画面の形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	64
AV出力設定	DVD-V DVD-A VCD CD	外部機器に接続して本機の映像をご覧になるときに、接続した端子に合わせて設定します。	64
言語メニュー			
画面表示言語	DVD-V DVD-A VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。	65
字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	65
音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	65
ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	65
音声メニュー			
EQタイプ	DVD-V DVD-A VCD CD	お好みの音響効果を選びます。	65
E.A.M	DVD-V DVD-A VCD CD	音場効果を選びます。 E.A.M = Enhanced Audio Mode	65
D.R.C	DVD-V	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。 D.R.C = Dynamic Range Control	66
音声出力	DVD-V DVD-A VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	66
操作メニュー1			
パレンタルロック	DVD-V	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	66
PBC	VCD	ビデオCD（PCB付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。	67
スクリーン・セーバー	DVD-V	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。	67
出荷時設定	DVD-V DVD-A VCD CD	すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	67
操作メニュー2			
優先再生	DVD-V DVD-A	DVDビデオの信号とDVDオーディオの信号のどちらを優先して再生するかを設定します。	68
DivXレジストレーション	DVD-V DVD-A VCD CD	DivXに関するお知らせが表示されます。	68

・映像が記録されているDVDオーディオディスクなどのとき、DVD-Vマークのついている機能が働く場合があります。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

TV画面メニュー

TV画面形状　16:9 ワイド　4:3 ノーマル／4:3 レターボックス／16:9 ワイド

AV出力設定　オフ

TV画面形状 DVD-V

4:3ノーマル：従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面全体に再生画面を表示します。ワイド映像の場合は、画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

4:3レターボックス：従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。
ワイド映像の場合は、上下に黒い帯を付けて表示します。

16:9ワイド：16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。
本機の液晶画面で見るとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9ワイド」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

AV出力設定 DVD-V DVD-A VCD CD

本機の映像をテレビやモニターと接続してご覧になりたい場合には、接続した端子に合わせて以下の設定が必要になります。

オフ：本機の液晶画面で見るとき。

ビデオ出力/Sビデオ出力：本機のAV出力端子またはS1映像出力端子と接続したとき。

D1出力：D1/D2映像出力端子と接続していて、インターレースで出力したいとき。

D2出力：D1/D2映像出力端子と接続していて、プログレッシブで出力したいとき。

お知らせ

- 「オフ」以外に設定すると、本機の液晶画面には画像が出なくなります。この設定を切り換えるときは、本機からの画像がテレビに表示されるように接続をすませた状態で行なってください。。
- 本機の電源を入れたときは設定が「オフ」に戻ります。

言語メニュー

画面表示言語	日本語	日本語
字幕言語	日本語	English
音声言語	日本語	
ディスクメニュー言語	日本語	

画面表示言語 DVD-V DVD-A VCD CD

日本語： 日本語で画面表示します。
English：英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V

日本語：日本語で字幕を表示します。
英語： 英語で字幕を表示します。
オフ： 字幕を表示しません。

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V

日本語：日本語で音声を再生します。
英語： 英語で音声を再生します。

お知らせ

ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V

日本語：日本語でディスクメニューを表示します。
英語： 英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ

ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

音声メニュー

EQタイプ	設定なし
E.A.M.	ノーマル
D.R.C.	オン
音声出力	アナログ 2ch

EQタイプ DVD-V DVD-A VCD CD

お好みの音響効果を選びます。

設定なし： 音響効果は働きません。
ジャズ： 低音域を強調して落ち着いた音になります。
ホール： コンサート会場のような残響効果が加わります。
スタジアム： さらに残響効果を高めて音全体に広がりが出ます。

E.A.M. DVD-V DVD-A VCD CD

音場効果をお好みに合わせて切り換えられます。

ノーマル： 普通の音声です。
3D： 2本のスピーカーだけでも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ

リモコンの「音場効果」を押しても、同じ設定ができます。44

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

D.R.C. DVD-V

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。

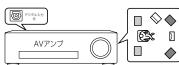
オン：ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

音声出力 DVD-V DVD-A VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については、49ページをご覧ください。

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。72

ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

アナログ2ch：
テレビやオーディオ機器を、アナログ端子（赤、白）で本機に接続しているとき。
62 70

PCM：
2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。72

ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

パレンタルロック DVD-V

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。

- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1）「決定」を繰り返し押して、パレンタルロックの規制レベルを選ぶ

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「オフ」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

7： NC-17
6： R
5： PG-R
4： PG-13
3： PG
2： G

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

2）方向ボタン(▲ / ▼)を押して、「パスワード」を選ぶ

3）番号ボタンで、任意の5桁の暗証番号を入力する

4）「決定」を押す

パスワードを設定すると、「 」が表示されます。

■パレンタルロックの規制レベルを変更するには
手順2)～4)を行なう

■暗証番号を変更するには
1)「パスワード」を選んだあとで、9ボタンを5回押す

9→9→9→9→9

暗証番号が解除されます。

2)番号ボタンで新しい5桁の暗証番号を入力する

PBC VCD

オン：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。
オフ：ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー DVD-V

オン：スクリーン・セーバーが働きます。
オフ：スクリーン・セーバーは働きません。

出荷時設定 DVD-V DVD-A VCD CD

はい：　すべての設定を出荷時の状態に戻します。
いいえ：設定は現状のままで選択を終了します。

設定の項目と映像調整の両方を出荷時の状態に戻したいときは、**「シフト」**を押しながら、**「セットアップ」**、**「クリア」**の順に押してください。

初期設定の変更と機能の設定

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

設定の内容

優先再生 DVD-V DVD-A

DVDビデオの信号とDVDオーディオの信号の両方が1枚のディスクに記録されているときに、どちらの信号を優先して再生するかを設定します。

DVD-AUDIO：DVDオーディオの信号を優先して再生します。
DVD-VIDEO：DVDビデオの信号を優先して再生します。

DivXレジストレーション DVD-V DVD-A VCD CD

画面の「表示」を選んで**「決定」**を押すと、DivXに関するお知らせが表示されます。
表示中に画面の「戻る」を選び**「決定」**を押すと、「操作メニュー2」の画面に戻ります。

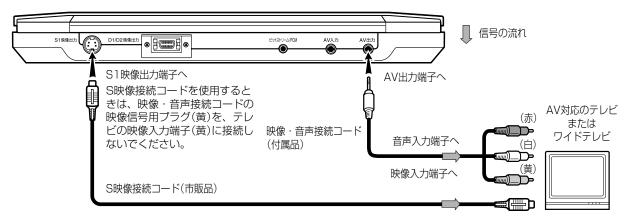
接続

テレビやオーディオシステムに接続できます。
また、バッテリーパックを接続して使うこともできます。

テレビやモニターとの接続

本機の映像と音声をテレビにつないで楽しむ場合に接続します。
出力される音声の種類については、49をご覧ください。

> ⚠ 警告
> **電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること**
> 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

テレビとの接続

- 上記の接続をすませてから、以下の設定をしてください。

設定する項目	選ぶ内容	ページ
「音声出力設定」	「アナログ2ch」	62 66
「AV出力設定」	「ビデオ出力/Sビデオ出力」	63 64

「AV出力設定」を「オフ」以外に設定すると、本機の液晶画面には画像は出なくなります。

お願い

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な画像にならないことがあります。

●接続しているテレビに映像が出ないとき…

設定しているモードが「AV入力」になっている可能性があります。
「入力切換」ボタンを押して、「AV入力」以外に設定してみてください。

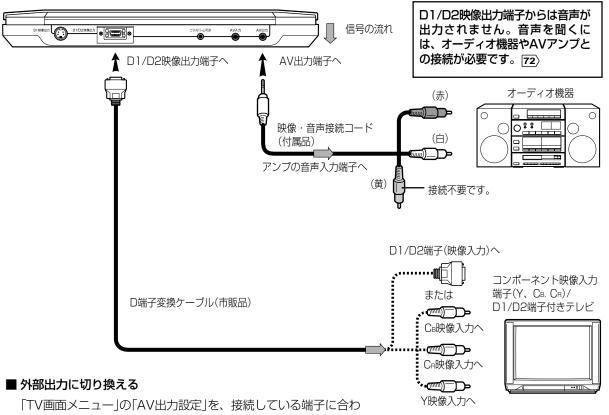
⚠注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。

コンポーネント映像出力端子やD端子について
テレビやモニターなどには、コンポーネント映像入力端子（Y, CB, CR）やD端子が付いているものがあります。この端子に接続すると、より高画質で再生が楽しめます。コンポーネント映像入力端子の名称は、テレビやモニターによって異なります。（たとえば、Y、R-Y、B-Yなど）
接続するテレビやモニターによって、再生する画像の色が薄くなったり色相が変わることがあります。このときには、テレビやモニター側で調整してください。

コンポーネント映像入力端子／D端子付きテレビとの接続

D1/D2映像出力端子からは音声が出力されません。音声を聞くには、オーディオ機器やAVアンプとの接続が必要です。 72〉

■ 外部出力に切り換える

「TV画面メニュー」の「AV出力設定」を、接続している端子に合わせて設定します。64〉

TV画面メニュー
TV画面形状　16:9 ワイド
AV出力設定　オフ　｜　オフ / ビデオ出力/Sビデオ出力 / D1出力 / D2出力

「AV出力設定」を「オフ」以外に設定すると、本機の液晶画面には画像は出なくなります。

- D1/D2映像出力端子から出力される信号は以下のとおりです。

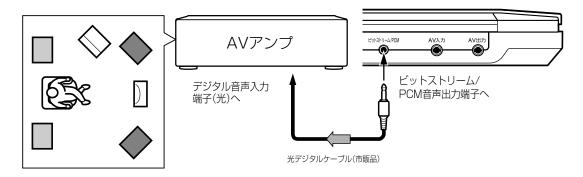
オフ	–
ビデオ出力/Sビデオ出力	–
D1出力	480i(インターレース)
D2出力	480p(プログレッシブ)

お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量でスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

AVアンプとの接続

- 出力される音声の詳細については 49 をご覧ください。

ドルビーデジタル、DTS、MPEG2、2チャンネルデジタルステレオ音声に対応したAVアンプと接続して、マルチチャンネルサウンドを楽しめます。

●接続するアンプにあわせて「音声出力」の設定が必要です。62 66

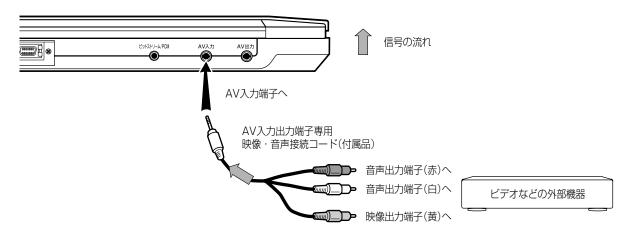
⚠注意

- 本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTSまたはMPEG2のデコード機能を搭載していないAVデコード製品を接続してお使いになるときは、機能設定画面で「音声出力」を必ず「PCM」にしてください。62 66 大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。
- DTS対応のディスク(音楽用CD)を再生すると、音声出力端子から過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機の音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のビットストリーム/PCMデジタル音声出力端子にDTSデジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

お願い

- 本機のビットストリーム/PCM音声出力端子は、ドルビーデジタルレシーバーのAC－3RF入力へ接続しないでください。この入力端子は、レーザーディスク専用で本機のビットストリーム/PCM音声出力端子とは互換性がありません。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源プラグやACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

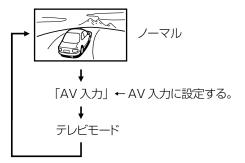
外部機器からの映像を本機で見る

AV入力端子に接続した外部機器の映像を、本機の液晶画面で見ることができます。
外部入力をしている場合（「AV入力」の表示中）は、スクリーンセーバー機能とオートパワーオフ機能は働きません。

■ 入力モードに切り換える

外部機器からの映像を本機の液晶画面で見たいときは、「**AV入力**」に切り換えておきます。

本体の**入力切換**ボタンを押す

入力切換　押すたびに、以下のように液晶画面が切り換わります。

入力切換／セットアップ

ノーマル：　本機の画像を、本機の液晶画面で見るとき。
AV入力：　接続したビデオデッキなどの外部機器からの映像を本機の液晶画面に表示します。
テレビモード：本機でテレビを見るとき。

お知らせ

- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。
- ディスクを再生し、本機で見たいときは、入力切換を「ノーマル」にしてください。入力切換が「ノーマル」以外に設定されているとディスクの再生はできません。

ヘッドホーンの接続

ヘッドホーンで音声を楽しめます。

⚠注意

ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎないこと。耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドホーンの接続

ステレオ小型プラグのヘッドホーンを接続します。接続するときは、いったん音量を下げ、再生が始まったら、お好みの音量に調整してください。

どちらか一方に接続します。
ヘッドホーンを2つ使用する場合には、
市販のヘッドホーンをお使いください。
（ステレオミニジャックØ3.5mm）

着脱時は
ここを開閉します。

ヘッドホーン
（付属品）

DC IN 12V

- ヘッドホーンの抜き差しは、本機の電源を切ってから行なってください。電源がはいった状態での抜き差しは、誤動作の原因となります。
- ヘッドホーンは二つ接続できます。

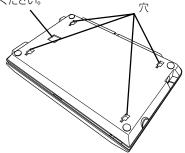
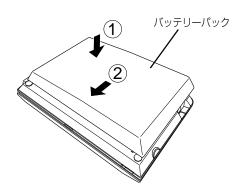
バッテリーパックを使う

⚠危険

- **指定されたバッテリーパックを使用すること**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しないこと**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは、下の説明どおりに正しく取り付けること**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り付けかた

ACアダプターや外部機器などの接続コードを本体からはずした状態で、バッテリーパックを取り付けます。

1. **本機の電源を切る**
2. **本機を裏返しにして置く**
3. **本機背面の端子カバーを スライドさせてあける**

4. **バッテリーパックを裏返し、バッテリーパックのツメを本体の4か所の穴に差し込む(①)**
   次に②の矢印の方向にバッテリーパックをカチッと音がするまでスライドさせる

お願い

使用後は、本機からバッテリーパックをはずしてください。

■ バッテリーパックの充電

1. **本機の電源を切る**
   本機の電源を入れたままバッテリーパックの充電をすることはできません。必ず本機の電源を切ってから充電してください。
2. **バッテリーパックを取り付ける**
3. **ACアダプターと電源コードを接続する** 22
   充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。
   充電が終了すると、電源表示が消灯します。

お知らせ

- 充電中は、電源表示が消灯するまでACアダプターと電源プラグを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーパックの電池残量が少なくなると、バッテリー表示が画面に表示されます。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃で行なってください。

■ バッテリーパックの充電時間の目安

約3.5時間

バッテリーパックは、本機の電源が 切れているときだけ充電ができます。充電時間は、バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

■ バッテリーパック使用時の連続再生時間

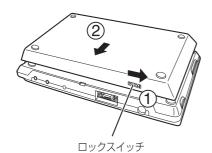
最大約4.5時間

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(25℃、スピーカー使用、新品のバッテリーパック使用時)

- 連続再生時間は、あくまで目安であり、バッテリーパックの状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると連続再生時間が短くなります。

バッテリーパックを使う（つづき）

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る
2 ACアダプターが接続してあれば本機からはずす
3 本機を裏返しにして置く
4 バッテリーパックのロックスイッチを①の矢印の方向にスライドさせて、バッテリーパックを②の矢印の方向にずらして取りはずす

5 本体背面の端子カバーをスライドさせてしめる

お願い

本機の動作中(電源表示が緑色またはオレンジ色に点灯中)は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。
お求めについては、お買い上げの販売店または背表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP28）

■ バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために、必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

Li-ion

一般社団法人 JBRC　ホームページ
http://www.jbrc.com
リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

カーアダプターを使う

⚠注意

- **24V車で使用しないこと**
  カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。
  これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。
- **本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターで充電しないこと**
  発煙、火災、感電の原因となります。
  また、車のバッテリー等への影響が発生します。

カーアダプターを使う

ポータブルDVDプレーヤー本体を自動車などで使う場合に、シガーライターソケットから電源を供給するアダプターです。

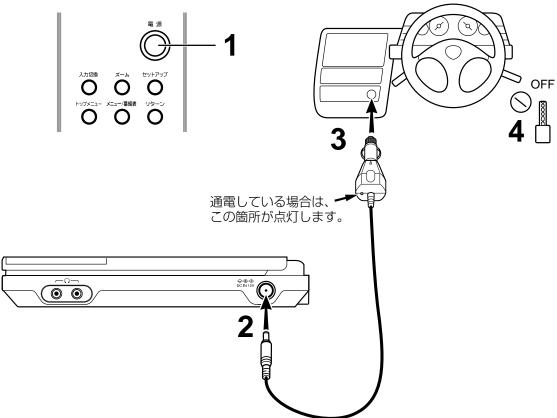
■ 接続方法

1 **ポータブルDVDプレーヤー本体の電源を切る**
バッテリーパックが付いている場合には、外してください。

2 **ポータブルDVDプレーヤー本体の電源入力端子にカーアダプターのプラグを差し込む**

3 **シガーライターソケットにカーアダプターのプラグを差し込む**

4 **車のエンジンをかけて、シガーライターソケットに通電させる**
車種によってはエンジンをかけなくても通電する場合があります。車の取扱説明書をご覧ください。

5 **はずすときはカーアダプターのプラグをポータブルDVDプレーヤーから抜き、シガーライターソケットからカーアダプターのプラグを抜く**

カーアダプターを使う

カーアダプターを使う（つづき）

■ 仕様

動作温度：5～35℃
動作湿度：30～80%
保管温度：-10～60℃
保管湿度：20～80%

お知らせ

- 移動中の車中ではポータブルDVDプレーヤー本体を動作させないでください。振動によって、正常に動作しない場合やディスクに傷がつく場合があります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にカーアダプターを放置しないでください。
- 車のエンジンを切るときは、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。
- 使用したあとは、シガーライターソケットとポータブルDVDプレーヤー本体からカーアダプターを抜いてください。
- 車種によっては、カーアダプターのプラグがシガーライターソケットに合わない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- カーアダプターに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- シガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、必ずカーアダプター本体を持って抜いてください。
- 車のエンジンを切ったまま、カーアダプターを使ってポータブルDVDプレーヤーを使用しないでください。車のバッテリーの消耗の原因となります。
- 車種やシガーライターの位置によっては、カーアダプターが取り付けられない場合があります。

キャリング ケースを使う

キャリングケースを使う

ポータブルDVDプレーヤー本体を持ち運ぶときに使うバックです。

■ 持ち運ぶとき

1 キャリングケースにポータブルDVDプレーヤー本体を入れる

2 取っ手をしっかりとにぎって持ち運ぶ

お知らせ

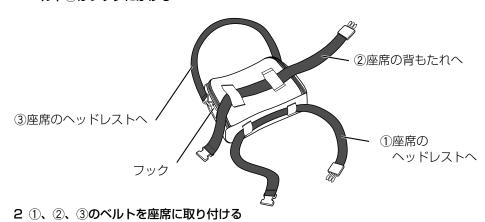
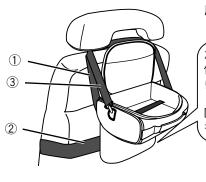
- キャリングケースのチャックをしっかりとしめてお使いください。
- キャリングケースには、ポータブルDVDプレーヤー本体と付属品以外のものは入れないでください。

キャリングケースを使う（つづき）

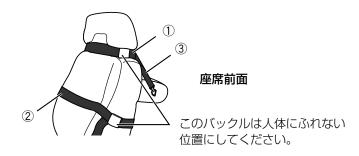
■ 車の座席への取り付けかた

キャリングケースを座席に取り付けたり、取りはずしたりするときは、ポータブルDVDプレーヤー本体を入れたままにして作業しないでください。

1 キャリングケースにベルト①、②を通す
ベルト③はフックにかける

2 ①、②、③のベルトを座席に取り付ける

座席背面

ポータブルDVDプレーヤー本体を動作させせるときは、必ずひらいた状態で使ってください。しめた状態では、ポータブルDVDプレーヤー本体の熱がこもって故障の原因となります。

- ベルトの長さは、座席に合わせて調整してください。

3　ポータブルDVDプレーヤー本体をキャリングケースに置く

しっかり固定されていることを、確認してください。

ポータブルDVDプレーヤー本体をベルトで固定する

- ポータブルDVDプレーヤー本体が水平になるように、ベルトの長さを調整してください。

お知らせ

- 走行中は車のシートから取りはずしてください。急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にポータブルDVDプレーヤー本体を入れたままキャリングケースを放置しないでください。
- 車種によっては、キャリングケースが座席に取り付けられない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- キャリングケースのベルトやチャックなどを強く引っぱったりしないでください。破損の原因となります。

その他

● 故障かな…？と思ったときは
● 仕様
● 商品の保証とアフターサービス

故障かな…？と思ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状と処置

症状	原因	処置	参照ページ
電源がはいらない。	• ACアダプターまたは電源プラグが抜けている。	• ACアダプターまたは電源プラグをしっかりと差し込む。	22
	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。	75
	• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。	75
液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れる。	27
画像が出ない。	•「AV出力設定」を、「オフ」以外に設定している。	• 電源を入れるたびに設定が「オフ」に戻るので、電源をいったん切り、入れ直す。	64
画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。	70
	• 本機の出力の切換が正しくない。	• 接続している端子に合わせて、設定する。	64
映像や音声が出ない。（テレビチューナーを使う場合）	• 正しくアンテナを接続できていない。	• 正しくアンテナを接続する。	53
	• オートプリセットしていない。	• オートプリセットして、受信可能なチャンネルを設定する。	54, 58
音声が出ない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の入力切換が正しくない。	• 音声接続コードをつないでいる機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。	–
	• ボリュームが小さすぎる。	•「音量」を押して調節する。	26
	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源がはいっていない。	• 音声接続コードでつないでいる機器の電源を入れる。	–
	• 音声出力が正しく設定されていない。	• 音声出力を正しく設定する。	48, 62 66
ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。	16
	• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。	–
	• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。	–
	• ディスクがしっかりとはまっていない。	• ディスクをいったんはずし、もう一度はめ直す。	24
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（本機の液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。	• 本機とテレビを直接接続する。	70
再生が始まらない。	• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。	24
	• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。	2, 15
	• ディスクを裏返しに入れている。	• 再生面を下にして入れる。	24
	• ディスクがななめにはいっている。	• ディスクをきちんと収まるように入れる。	24
	• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。	16
	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックを解除、または規制レベルを変更する。	66
	• 本機の入力の切換を「AV入力」に設定している。	•「入力切換」を押して、本機の液晶画面に画像が出るようにする。	73

症状	原因	処置	参照ページ
ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。	–
操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 「電源」を押して電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。	–
リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向ける。	21
	• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。	21
	• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。	21
	• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。	21

仕様

本体部／端子部／液晶画面部／付属品

[本体部]

電源	入力端子 DC12V（定格電流：3A（最大：バッテリーパック充電時）） AC100V　50/60Hz（付属のACアダプター使用時）
質量	約1.3kg
外形寸法	幅261×高さ37×奥行179mm（突起部除く）
信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長650nm/795nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVDリニア音声　：48kHz サンプリング 4Hz~22kHz (JEITA) ：96kHz サンプリング 4Hz~44kHz (JEITA) ：192kHz サンプリング 4Hz~88kHz (JEITA)
使用条件	温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平
ワンセグ放送	UHF: 13～62ch
受信チャンネル（地上アナログ放送）	VHF: 1～12、UHF: 13～62、CATV: C13～C63
受信周波数（FM放送）	FM: 76.0～90.0MHz

[端子部]

映像出力（AV出力）	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、AV出力小型端子（ø3.5mm）×1
S1映像出力	(Y)1.0V(p-p)、75Ω、同期負、ミニDIN4ピン ×1 (C)0.286V(p-p)、75Ω
D1/D2映像出力	D端子14ピン、2列、1.27mmピッチ Y出力：1.0V(p-p)、75Ω　CB・CR：0.7V(p-p)、75Ω
音声出力（ビットストリーム／PCM音声出力端子）	光コネクター（ø3.5mm）×1
映像入力（AV入力）	1.0V(p-p)、75Ω、同期負、AV入力小型端子（ø3.5mm）×1
ヘッドホーン端子	ステレオミニジャック（ø3.5mm）×2
アンテナ入力	F型コネクター、75Ω

[液晶画面部]

画面サイズ	9型
表示方式	IPS方式
駆動方式	アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	横800×縦480ピクセル（有効画素率99.99%以上）

[付属品]

AV入力出力端子用映像・音声接続コード 1本
ワイヤレスリモコン(MEDR90DTJX)................................ 1個
コイン型電池（CR2025）.. 1個
ACアダプター（ADPV16）.. 1個
電源コード 1本
バッテリーパック(SD-PBP28) 1個
ヘッドホーン 1個
アンテナ .... 1本（アンテナ変換プラグ1個）
カーアダプター 1個
キャリングケース 1個
取扱説明書 1冊

・意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
・この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なります。
・本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

84、85ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品　名	ポータブルDVDプレーヤー	
形　名	SD-P90DT	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お　名　前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　ー

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。**

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ　ヨイ）

電話受付：365日・24時間受付

（※フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。）

※携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220（通話料がかかります）

西日本地区（上記以外）06-6440-4411（通話料がかかります）

新商品などの商品選びや、本機に関する取扱方法などのご相談

上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は）フリーダイヤル（通話料無料） **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は）ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-3755**
（PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土　10:00 ～ 20:00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）

日曜日・祝日　10:00 ～ 16:00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社

〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

Ⓗ PX1D00000324